

## 生涯学習に取り組む市民の祭典 第28回公民館まつり

歌や踊り、絵画、書道…。市内ではたくさんの市民が、さまざまな分野で日々、生涯学習に取り組んでいます。その祭典、公民館まつりが今年も3月6日から8日まで、中央公民館で開催されました。展示の部には30団体、発表の部には24団体が参加したほか、7日には元NHKアナウンサー、加賀美幸子さんによる文化講演会も開催。日ごろの活動の成果を一目見ようと、たくさんの市民が会場に足を運びました。また、会場内では陶芸・押し花作品やお菓子などの販売も行われ、その収益金約72,000円が、社会福祉協議会に寄付されています。



▲3B体操愛好会の皆さんによるステージ発表

## おひなさまと一緒に楽しいひととき 壽丸屋敷で「白石城下わらべまつり」を開催



▲参加者と一体になった魅力あふれるミニコンサート

3月1日、壽丸屋敷で4回目となる「白石城下わらべまつり」が開催され、県内外から参加した親子連れなど約70人が、童謡や民話などでひな祭りを満喫しました。この催しは、白石まちづくり(株)が主催したものです。会場の大広間には多数のひな人形が飾られ、ひなまつり気分を演出。優しい雰囲気の中で、潮風の会による篠笛や、腹話術で語られる民話、女性アンサンブルグループによる透明感あふれる歌などが披露されました。お昼には温麺料理も出されるなど、盛りだくさんの内容。子どもたちが最高の笑顔を浮かべていました。

## 胸に響く太鼓の音、それはかけがえない6年の日々 深谷小学校で「かさまつ太鼓」の引き継ぎ式



▲熱のこもった演奏を披露する6年生

2月21日、深谷小学校で「かさまつ太鼓」の引き継ぎ式が行われました。同小学校では10数年ほど前から、児童全員の取り組みとして太鼓演奏を行っています。勇壮な演奏は地区でも評判で、校内や市の行事など、数々の舞台上で演奏を披露してきました。

式では保護者や地域の皆さんが見守る中、3月末で小学校を卒業する6年生9人が、深谷小学校での日々を振り返りながら「これぞ最上級生」という見事な演奏を披露。4月以降、かさまつ太鼓の伝統を受け継ぐことになる下級生が真剣なまなざしで見つめていました。

## 子どもたちの温かい心に、感謝の笑顔 白石第一小学校の児童会が車いすを寄贈

3月4日、白石第一小学校(佐藤茂廣校長)の児童4人が刈田病院のベッドスクールを訪れ、アルミ製の車いす1台を寄贈しました。同小の児童会では5年ほど前から、7月と9月に全校児童と保護者がアルミ缶や段ボールを回収し、その売上金で購入した車いすを福祉施設などに寄贈する取り組みを行っています。

刈田病院のベッドスクールには、これまで専用の車いすがありませんでした。現在、ベッドスクールに車いすが必要な児童生徒はいませんが、今後さまざまな場面で活用されるということです。



▲ベッドスクールに車いすを寄贈する子どもたち(写真左)

## 楽しい趣味として、美しいインテリア作りはいかが? 壽丸屋敷でパンフラワー講習会

2月23日、壽丸屋敷でパンフラワー講習会が行われました。パンフラワーは、パン粘土を材料にして作る花のことで、手軽に楽しめる造形アートとして人気があります。講習会を主催したのは、市内でパンフラワー教室を主宰する山本紀子さんと、その門下生などの皆さん。市内外から午前・午後合わせて29人が参加し、手ごろな趣味として、健康維持の手段としてパンフラワー作りに挑戦しました。予想以上の反響に、山本さんは「本当にうれしい限り。これからも、できる限り皆さんのお役に立ちたいです」と話していました。



▲山本さん(写真中央)が作り方を丁寧に説明

## みんなで楽しく交流! でも負けなぞ! スポーツ少年団交流大会



▲熱戦のぞうきん掛けリレー

2月15日、白石市スポーツ少年団に所属している野球やバレーボール、武道などの少年団がホワイトキューブに集まり、スポーツ少年団交流大会が開催されました。18回目を迎える交流大会には、市内のスポーツ少年団13団体の団員約260人が参加。ニュースポーツの「ドッチビー」は16チームの縦割りで、「大縄跳び」と「ぞうきん掛けリレー」は各団対抗で競い合いました。参加した子どもたちは「体力には自信あり」と、どの競技にも一生懸命に取り組み、駆け付けた家族などからの声援を受けながら、心地よい汗を流していました。

## 節目を大切に! 白石市手をつなぐ育成会「卒業を祝う会」



▲蓬田会長(写真左)から記念品を贈呈される卒業生たち

3月15日、障害を持つ子どもの保護者でつくる「白石市手をつなぐ育成会(蓬田明会長)」が、この春に小学校、中学校そして高等学校を卒業する皆さんの門出を祝う「卒業を祝う会」を、中央公民館で開催しました。

この春に卒業する8人のうち、4人の卒業生が出席。蓬田会長から「入学、卒業、成人といった節目を大切に頑張ってください」と激励の言葉が送られました。

4人の卒業生たちは、家族や仲間、そして来賓の皆さんの前で、これから始まる、新しい生活での目標を一人ひとり語り、新たな第一歩を踏み出しました。

## 白石特産の温麺をさらにおいしく食べましょう! ヘルスマイト白石のつどい

2月23日、ヘルスマイト白石のつどいが健康センターで開催され、43人の会員の皆さんが参加しました。ヘルスマイトは、「私たちの健康は、私たちの手で」をスローガンに、食生活を中心とした健康づくりの地区活動を行う食生活改善推進員の愛称です。

この日は、新しい温麺の食べ方を学ぼうと、仙台市を中心にフードコーディネーターとして活躍中の、八巻美恵子さんを講師に迎えた講習会を開催。温麺のピザとさつま揚げ、サラダの3つの新しい料理に、会員の皆さんは楽しくそして真剣に取り組んでいました。



▲温麺ピザを調理する八巻先生と会員の皆さん